百万母力の子育て情報紙　Vol.50

月刊 お母さん 業界新聞

www.okaasan.net/　お母さん大学　検索

「お母さん業界新聞メール版」を読もう！
空メールを送って
カンタン登録

お母さん大学は、老若男女響学です
新入生募集中！

お母さんが笑顔になる
子育て共感賃貸住宅
HEBEL MAISON BORIKI 母力

「母力むさしの」入居者募集中！

旭化成ホームズ×お母さん大学の共同研究から生まれた
子育て共感賃貸住宅ヘーベルメゾン母力。
お母さんが安心して子育てを楽しめる
「お母さんの笑顔」を大切にした住まいです。
第1棟「母力むさしの」の建築工事が進み、
母力説明会＆現地見学会が行われました。
入居申込みは、随時受け付けています。

コンテンツ

特集 味噌力、地域力、女子力
味噌活フェスタ開催！
講演「味噌パワーの秘密！」／ミソガール女子会トーク
母力イベント大盛況！母力説明会＆現地見学会開催報告

お母さん大学×神州一味噌（宮坂醸造）味噌仕込みモニター
「しょっぱくて甘い味噌が天地返しでいい塩梅に！」
福島リアルLINK「原発いらない」カリフォルニア各都市で講演活動
伊勢戸由紀の有機と勇気「女同士、経営者同士、同志として高め合う」渡辺陽子さん
精神科医・上村順子の心の診察室Q＆A「夫の言葉の暴力に悩んでいます」
障がい児子育て日記「目は口ほどに物を言う」
藤本裕子のつぶやき「ブンナにやられた!?」
MJ記事／MJ記者アクションレポート／パパ's コラム／誕生日に母を語る
夏休み おうち劇場「ふるさと再生 日本の昔ばなし」子育て再生プロジェクト
劇団青年座「ブンナよ、木からおりてこい」特別親子公演　参加者大募集！

息子（優人・3歳）と娘との慌ただしい毎日。優人はちっとも言うことを聞かないし、志乃は何でも口に入れてしまうから片時も目を離せません。イライラすることも多いけれど、かわいい寝顔には癒されます。そしてまたがんばれるっ！　それほど子どもの寝顔には力がある。いえ。私を見てニコッとする笑顔も最高！子どもの存在そのものが奇跡であり、一番の宝物です。

昔から母になるのが夢でした。息子には優しく、娘には志の強い子になってほしいと願い、名付けました。

実は、2人とも不妊治療を経て授かった子どもたちです。高度生殖医療が進んだこの時代に産まれ、母親になれたことに心から感謝しています。

子どもたちには、ただ健康で明るくのびやかに育ってほしい。それぞれやりたいことを見つけ、与えられた人生を謳歌してほしい。そのためのサポートは全力でしたいと思っています。

コレといった具体的な夢は特にありません。いつまでも家族仲良く、元気で暮らしたい。贅沢なくらい幸せな今が、ずっと続くといいなと思います。

子どもたちの今を見逃したくない。遠くの両親に成長ぶりを伝えたいと始めた子育て日記（ブログ）ですが、できる限り続けたいと思っています。文章というより写真とコメント？私が焼いたパンを笑顔で美味しいね♪と頬張る姿、2人が同じ格好で寝ている姿など瞬間をパチリ！　いつかみんなで読み返せたらと思います。

お父さんも一緒！

母ゴコロ　ちょうちょ

いってきま〜す！
いってらっしゃ〜い！
息子と次女がいつも通りに出かける朝。
ふと外をのぞくと、
息子だけがまだ集合場所に立っている。
何やってんの？
窓から叫んだ私に、
息子は口に指を立てて、
し〜っ！とジェスチャーをして見せました。
遅れるよ？　あれ？　みんなは？
それでもし〜っ！と指を立てているので
傍にいくと、息子の太ももに、
きれいなちょうちょが止まっていました。
ね？　おかあさん。こういうことよ。
息子はちょうちょをびっくりさせたくないと、
じっとしていました。
和樹、今日はラッキーだねぇ！
ぼくもそう思ったよ！
それからしばらく、
ちょうちょが飛んでいくまで2人でおしゃべり。
あ、行っちゃった！
そして息子を車に乗せ、
途中までみんなを追いかけて…。
おかあさん、虫にも命があるんだよね。
だとしたら、手で払ったり、
つついたりしたくないなぁ。
だって、あのちょうちょにも
おかあさんがいるはずだもん。
何気なく言った息子の言葉に、
すがすがしい気持ちになった朝でした。

筬島美保

苺一絵

▼世界仰天ニュース「マンション一棟丸ごと家族、妻39人、子ども94人、孫33人と暮らすインド人男性」。一夫多妻制を語る以前に少子化に拍車がかかる日本の現実を憂う▼NHKスペシャル「産みたいのに産めない〜卵子老化の衝撃」放送以来、方々でこの話題に出くわすが、お母さんも、そうでない人も危機感を抱いている▼今、不妊検査や治療を受けたことがある夫婦6組に1組。卵子の老化による不妊が広がっている。体外受精件数は、年間21万件と5年で倍増して世界最多に。30代半ばを過ぎると老化の卵子の割合が増え、妊娠の確率は20代の半分に。卵子の老化に原因がある不妊治療患者の割合は平均47%。初診患者の平均年齢35歳以上と答えた医療機関77%。35歳以上の女性患者で不妊治療まで卵子の老化を「知らなかった人」55%。卵子の老化の影響で体外受精などにより45歳出産0.5%。卵子の老化による不妊を深刻化させる一因は男性にも▼不妊大国ニッポンという呼称も一般化。これまで個人の問題ととらえられていた不妊が、大きな社会問題であることが浮き彫りに。自治体の特定不妊治療費助成制度も始まっている▼だが今、日本には、これらの知識を学ぶ教育機関も段階もない。お母さん大学の出番か!?

母たちへの一文

健康の基本は食にあり

アースピリッツ社長　井之村嘉彦

こだわりの「食」の仕事に就いて26年、「青葉統合医療推進会」なるものを立ち上げました。「健康長寿『白寿を祝い天寿を全うする』難民患者家族の傷みのケアーに貢献する」としています。

数年前、母が肺がんで亡くなる最期の数週間、83歳の父と私たち兄弟3人は国立病院のホスピスで過ごしました。ケアとしては最高に近い看護と施設でしたが、医療の西洋・東洋にかかわらず、患者本人の傷みと、対面する家族の傷みまでは、軽減できるものではありませんでした。無念さの一方で、長年私が携わってきた「食」は、何かその方法を持ってはいないだろうかと考えていました。

そのときです。地域の統合医療（ホリスティックナチュロパス）を検討されている先生に出会いました。先日、膵臓がんで奥様を亡くされた先生ですが、その直前に、私の提供する食と情報をやりとりすることができ、これなら地域で役立てることができるかもしれないという可能性を見出すに至り、「ではやってみましょう！」となったのです。

折しも、竹炭灰を使った新製品「TAKE BABY」発表の時期と重なりました。生まれる前から天寿を全うするまでという命に関わる取り組みです。宇宙・地球・命・現在の流れの中で、バランスよく存在するためには、あまりにも絶望的なことが多いこの頃ですが、健康の基本は「食」にありと、新宣言したいと思います。